

科目名	総合日本語初中級 I						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	218時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	前半は聞くこと、話すことを中心に基本的な言葉や文法を学ぶ。後半は日常的なテーマの教材を使い、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を総合的に学習する。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な話題について書かれた具体的な内容の文章を読んで理解できる。	
	○	○		○		日常的な場面の自然に近いスピードで話される会話を聞いて、ほぼ理解できる。	
	○	○		○		事前に準備しておけば、簡単な説明やスピーチができる。	
	○	○		○		身近なテーマについて、段落のある簡単な作文が書ける。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級 I・II 第2版』スリーエーネットワーク 2012年 平井悦子・三輪さち子『中級へ行こう第2版』スリーエーネットワーク 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	17	第26課～第30課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	18～34	第31課～第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	35～51	第36課～第40課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	52～68	第45課～第45課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	69～89	第46課～第50課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	90～94	第1課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	95～99	第2課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	100～104	第3課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	105～109	第4課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
確認テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	読解初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	お知らせや説明書などの身の回りの文書や、簡単な言葉で書かれた新聞記事や小説、意見文、説明文などが読めるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な話題について書かれた具体的な内容の文章を読んで理解できる。	
	○	○		○		知らない言葉や文法が多少あっても、前後関係から意味を推測できる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2016年 渡邊亜子・菊池民子 『日本語能力試験問題集 N3読解スピードマスター』 Jリサーチ出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第26課・第27課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	2	第28課・第29課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	3	第30課・第31課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	4	第32課・第33課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	5	第34課・第35課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	6	第36課・第37課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	7	第38課・第39課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	8	第40課・第41課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	9	第42課・第43課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	10	第44課・第45課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	11	第46課・第47課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	12	第48課・第49課			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	13	第50課・ウォーミングアップ			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	14	実戦練習内容理解(短文)問題1~6			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
15	実戦練習内容理解(短文)問題7~12			指定された宿題を行うこと。(1時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	聴解初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	日常的な場面でのやや自然に近いスピードの会話を聞いて、話の具体的な内容がほぼ理解できるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が理解できる。	
	○	○		○		指示や説明などから必要な情報を聞き取り、何をすべきか理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『聴解タスク25』スリーエーネットワーク 2018年 中村かおり・福島佐知・友松悦子『新完全マスター聴解 日本語能力試験N3』スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第26課・第27課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	2	第28課・第29課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	3	第30課・第31課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	4	第32課・第33課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	5	第34課・第35課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	6	第36課・第37課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	7	第38課・第39課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	8	第40課・第41課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	9	第42課・第43課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	10	第44課・第45課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	11	第46課・第47課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	12	第48課・第49課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	13	第50課・N3 問題紹介			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	14	I 音声の特徴に慣れる			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
15	II 「発話表現」のスキルを学ぶ			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	会話初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	身近で日常的な話題について、初級で学んだ語彙や文法を使って会話ができるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身の回りの日常的な場面で、誤解をしたり誤解を与えたりすることなく、簡単なやりとりができる。	
	○	○				初級で学んだ語彙や文法を的確に使う、身近で日常的な話題(趣味や週末の予定など)について会話ができる。	
	○	○				準備をしていけばフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』 スリーエーネットワーク 2012年 西口光一 『日本語おしゃべりのたね』 スリーエーネットワーク 2007年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第26課・第27課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	2	第28課・第29課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	3	第30課・第31課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	4	第32課・第33課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	5	第34課・第35課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	6	第36課・第37課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	7	第38課・第39課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	8	第40課・第41課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	9	第42課・第43課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	10	第44課・第45課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	11	第46課・第47課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	12	第48課・第49課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	13	第50課				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
	14	ユニット2 いただきまーす				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)	
15	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう				習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)中間試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	作文初中級 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	作文を書くことに慣れ、初級で学んだ言葉や文法を使って身近なテーマの400字程度の作文が書けるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		話し言葉と書き言葉を使い分けることができる。	
	○	○		○		原稿用紙の使い方も含め、正しい表記ができる。	
	○	○		○		具体的な例を挙げて分かりやすく説明できる。	
	○	○		○		自分の気持ちを豊かに表現できる。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	もしわたしが二人いたら				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	趣味				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	日本でびっくりしたこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	わたしの夢				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	ごみ: 国との比較(1)				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	交通: 国との比較(2)				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	わたしの周りの最近のニュース				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	わたしの国の有名な人				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	文字語彙初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	日常生活でよく使われる約1200語を、短い文や語句、イラストを使って効率よく学ぶ。JLPT N3の言語知識だけでなく、読解や聴解にも役に立つ。						
授業形態	講義	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な場面に必要な語彙の意味や用法を正しく理解し、使うことができる。	
	○	○		○		習った言葉の正しい発音や表記ができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN3語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1週1日目・2日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	2	第1週3日目・4日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	3	第1週5日目・6日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	4	第1週7日目・第2週1日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	5	第2週2日目・3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	6	第2週4日目・5日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	7	第2週6日目・7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	8	第3週1日目・2日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	9	第3週3日目・4日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	10	第3週5日目・6日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	11	第3週7日目・第4週1日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	12	第4週2日目・3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	13	第4週4日目・5日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	14	第4週6日目・7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	15	第5週1日目・2日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	文法初中級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる文法を学び、N3合格を目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		文の内容に合った文法形式かどうか判断できる。	
	○	○		○		統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる。	
○	○		○		文章の流れに合った文かどうかを判断できる。		
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN3文法』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1週1日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	2	第1週2日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	3	第1週3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	4	第1週4日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	5	第1週5日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	6	第1週6日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	7	第1週7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	8	第2週1日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	9	第2週2日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	10	第2週3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	11	第2週4日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	12	第2週5日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	13	第2週6日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	14	第2週7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
15	第3週1日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	日本事情 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	日浦・藤井		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	日本の法律や習慣、学校の規則などを理解し、身近な人々と良い関係を築き、日本での留学生生活をスムーズにスタートすることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日本の法律や習慣、学校の規則を理解し、実践できる。	
				○		担任やクラスメート、アルバイト先の人などと良い人間関係を築くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	入学式			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	オリエンテーション			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	防災センター			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	進路説明会			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	バスハイク①			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	バスハイク②			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	バスハイク③			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	バスハイク④			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)授業への参加状況(事前学習、事後学習を含む) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業への参加状況	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							